

岩手を中心とした北東北インバウンド誘客推進調査・検討等業務 第 1 回観光コンテンツプロデュース会議

検討資料

2017年9月15日（金）

1. 東北の観光復興に関する取組の強化について

東北の目指す姿と東北支援の機運の高まり

「東北観光復興元年」、 東北への宿泊者数を3倍の150万人泊へ



首相官邸HP

東日本大震災5年 首相会見要旨

安倍晋三首相の記者会見の要旨は次の通り。

【冒頭発言】

3月11日、東日本大震災から5年を迎える。復興は一步一步確実に前進している。これからも地域ごとの多様なニーズに応えて支援していく。今後5年間で復興・創生期間と位置づけ、十分な財源を確保し、被災地の自立を支援したい。

常磐自動車道の福島県

【質疑応答】

ついても、2019年度中に全線開通を目指すことを決定した。帰還困難区域においても放射線量の低下は明らかだ。区域の見直しに向けた考え方を今夏までに示したい。

東北6県の外国人宿泊者数を20年に（昨年の）3倍の150万人に押し上げることを目指す。今年をまさに「東北観光復興元年」にする考えだ。

原子力規制委員会が審査し、新規制基準に適合した原発のみ、再稼働を進めるという一貫した方針に変わりはない。関電には、さらに安全性に関する説明を尽くすことを期待したい。政府も指導する。資源に乏しい日本が、エネルギー供給の安定性を確保するために、原子力は欠かせない。放射性廃棄物の中間貯蔵施設の用地取得が進んでいない。中間貯蔵施設の用地取得について、地権者の理解をいただけるよう現地の体制をさらに強化する。最終処分地の選定が適切になされるように、国として最後まで責任をもって対応していく。

記者会見する安倍首相。会場には米旗が掲げられた（10日、首相官邸）

3. 11日本経済新聞

東北の観光復興に関する取組の強化について(復興庁の取組)

- 東北観光については、風評被害の影響等により、全国的なインバウンド急増の効果を享受できていないなど、依然として厳しい状況。このため、国土交通省等の関係省庁と連携し、観光復興の取組を強化。
平成28年度当初関連予算額 約50億円 (平成27年度当初関連予算額 約5億円)

インバウンドに関する取組

戦略的な拡大
に向けた準備

【新規】

東北観光復興対策調査

マーケティング調査、地域の観光人材育成等。(国交省執行)

平成27年度補正 1.0億円

「新しい東北」交流拡大モデル事業

先駆的なモデルケースの創出。
(復興庁執行) 平成27年度補正 1.8億円

平成28年度概算決定 4.2億円

東北観光復興対策交付金

国・地方による
総合的な取組

【新規】

地域からの発案に基づいたインバウンド
を呼び込む取組を支援。(国交省執行)

平成28年度概算決定 32.7億円

東北観光復興プロモーション

ビジット・ジャパン事業による東北ブランド発信
強化。(国交省執行)

平成28年度概算決定 10.0億円

福島に関する取組(国内観光振興)

福島県における観光関連復興支援事業

特に風評被害の大きい福島県については、国内観光振興、教育旅行についても支援。(国交省執行)

【継続】

平成28年度概算決定 2.7億円

(参考) 東北観光アドバイザー会議

- 有識者からなる東北観光アドバイザー会議を復興庁に設置。
- 風評被害等により回復が遅れているインバウンドを中心に、東北の観光復興の課題と対応策を議論し、来年春を目途に提言を得る。

東北の観光復興に関する取組の強化について(復興庁の取組)

- 東北の観光については、風評被害の影響等により、全国的なインバウンド急増の効果を楽しんでいないなど、依然として厳しい状況。
- 東北観光復興元年として、国土交通省等の関係省庁と連携し、東北の観光復興を力強く推進。

1. 観光復興関連事業

関係予算を大幅に増額(27当初:5億円⇒28当初:50億円※)。
※27補正を含めると52億円

◆インバウンドに関する取組

- 東北観光復興対策交付金の創設
(インバウンドを呼び込む地域の取組を支援。また、これらの取組を効果的に推進するため27補正でマーケティング調査等を実施。)
【27補正:1.0億円、28当初:32.7億円】

- 東北観光復興プロモーションの実施(東北ブランド発信強化)
【28当初:10.0億円】

- 「新しい東北」交流拡大モデル事業の実施
(先駆的なモデルケースの創出)
【27補正:1.8億円、28当初:4.2億円】

◆福島に関する取組

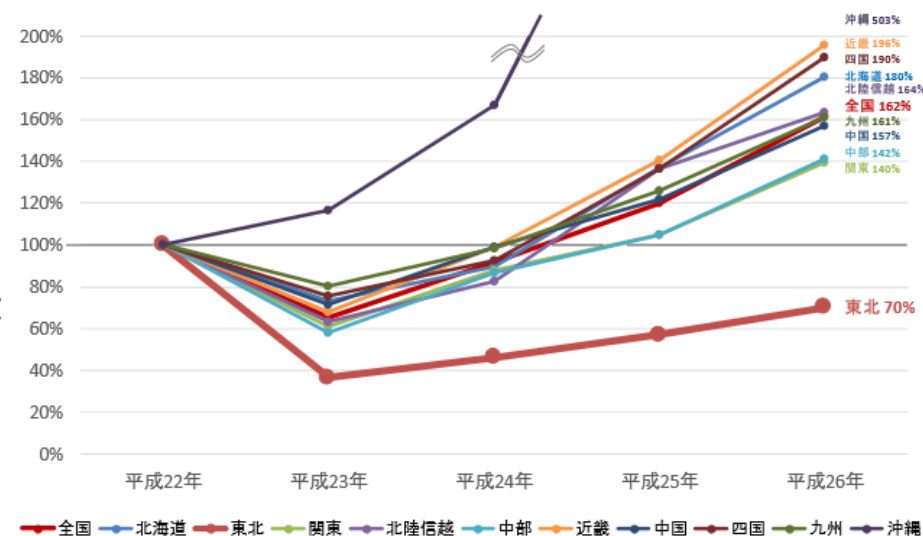
- 特に風評被害の大きい福島県については、国内観光振興、教育旅行についても支援
【28当初:2.7億円】

2. 東北観光アドバイザー会議

- 有識者からなる「東北観光アドバイザー会議」を復興庁に設置(座長:久保 前観光庁長官)。
- インバウンドを中心に東北の観光が抱える課題と観光復興に向けた対策について、ご議論いただき、今春を目途に提言を得る。
- 第1回会議を1月22日に開催。

外国人宿泊者数の推移

	平成22年	平成26年	(H22比)
全国	2,602 万人泊	4,207 万人泊	161.7%
東北6県	51 万人泊	35 万人泊	70.1%



注1) 観光庁「宿泊旅行統計調査」による。
注2) 従業員10人以上の宿泊施設を使用。
注3) 各ブロックは地方運輸局等の単位による集計
(長野県は北陸信越運輸局、福井県は中部運輸局に含まれる。)

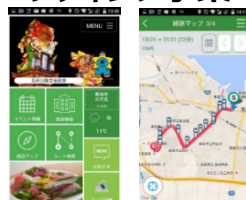
(参考) 東北観光復興対策交付金 (事業例)

目的：東北地方の風評被害を払拭し、東日本大震災の影響により大きく落ち込んだ訪日外国人旅行者を回復させ、インバウンド急増の効果を波及させることにより、観光を通じて被災地の復興を加速化する。
概要：東北地方の地方公共団体が、観光復興対策実施計画に基づき実施するインバウンドを呼び込む取組に要する経費について、交付金を交付する（交付率8／10）。

①観光復興促進調査事業 (青森県)

インバウンド観光促進マーケティング事業

- ・観光・交通情報アプリ（あおりナビ）を活用
- ・外国人観光客の旅行行動を調査・分析



④受入環境整備事業 (宮城県)

みやぎFree Wi-Fi (仮称) 整備事業

- ・共通SSIDを導入
- ・博物館や美術館などの県有施設で無料Wi-Fiを整備



複数の地方公共団体が連携して、広域的に事業を行うものを優先

東北6県と仙台市が連携

レンタカーを活用したドライブ周遊観光促進事業

- ・旅行会社と連携し、ドライブ観光周遊ルートを策定
- ・訪日外国人向けのフリーマガジンを発行
- ・海外旅行博でのPR



②地域取組体制構築事業 (福島県)

ふくしまDMO推進プロジェクト事業

- 福島にしかない特別な体験をコンセプトに、
- ・専門家による検討会議
- ・県内企業のCSR担当者を対象とした勉強会



⑤滞在コンテンツ充実・強化事業 (岩手県)

いわて冬季イベント充実・強化事業

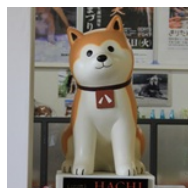
- ・「希望郷いわて雪まつり」のコンテンツを「食、雪、体験」をテーマとして、外国人観光客向けに充実



③プロモーション強化事業 (秋田県)

秋田犬を活用したFIT誘客対策事業

- 秋田犬を見学出来る施設をつなぎ、
- ・海外のテレビで情報発信
- ・旅行会社とのタイアップキャンペーン



⑥国際会議等誘致・推進事業 (山形県)

MICE誘致促進に向けた情報発信事業

- ・情報媒体を活用し、主催者や取扱広告代理店などへプロモーション



青森市、北秋田市、山形市が連携

日本三大樹氷ブランド化誘客推進事業

- ・台湾、オーストラリアからのファムツアー
- ・樹氷フォーラムを開催
- ・三大樹氷パンフレットを作成



(八甲田)



(蔵王)



(森吉山)

➡ 観光復興対策交付金を最大限に活用し、
2020年における岩手県の外国人宿泊者数は**295千人**を目指す

2. 岩手県の観光の現状

岩手県における市場別外国人旅行者数の推移

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
韓国	14,890	11,150	5,150	12,440	5,820	4,690	5,860	4,350	7,210	6,980
中国	4,170	2,620	3,870	4,940	1,920	2,780	2,400	2,570	7,900	13,060
香港	22,200	18,600	10,020	17,920	3,770	5,370	4,300	3,940	5,250	8,690
台湾	45,590	45,630	34,920	35,970	12,090	19,640	32,200	45,560	51,050	64,780
フィリピン							180	370	2,720	1,170
ベトナム							360	410	640	400
タイ	710	840	620	600	260	780	1,510	1,720	2,460	4,380
マレーシア				140	60	250	950	320	600	850
シンガポール	720	950	950	2,070	650	410	570	380	1,310	1,760
インドネシア							160	620	420	360
アメリカ	2,700	2,820	3,040	2,460	2,380	2,350	2,700	3,330	4,620	4,980
カナダ	270	170	250	310	270	180	230	160	800	540
オーストラリア	280	580	510	870	940	690	1,390	2,080	2,660	3,510
その他	5,870	5,160	5,310	5,720	3,980	5,650	8,520	7,410	11,720	13,870
全体	97,400	88,520	64,640	83,440	32,140	42,790	61,330	73,220	99,360	125,330

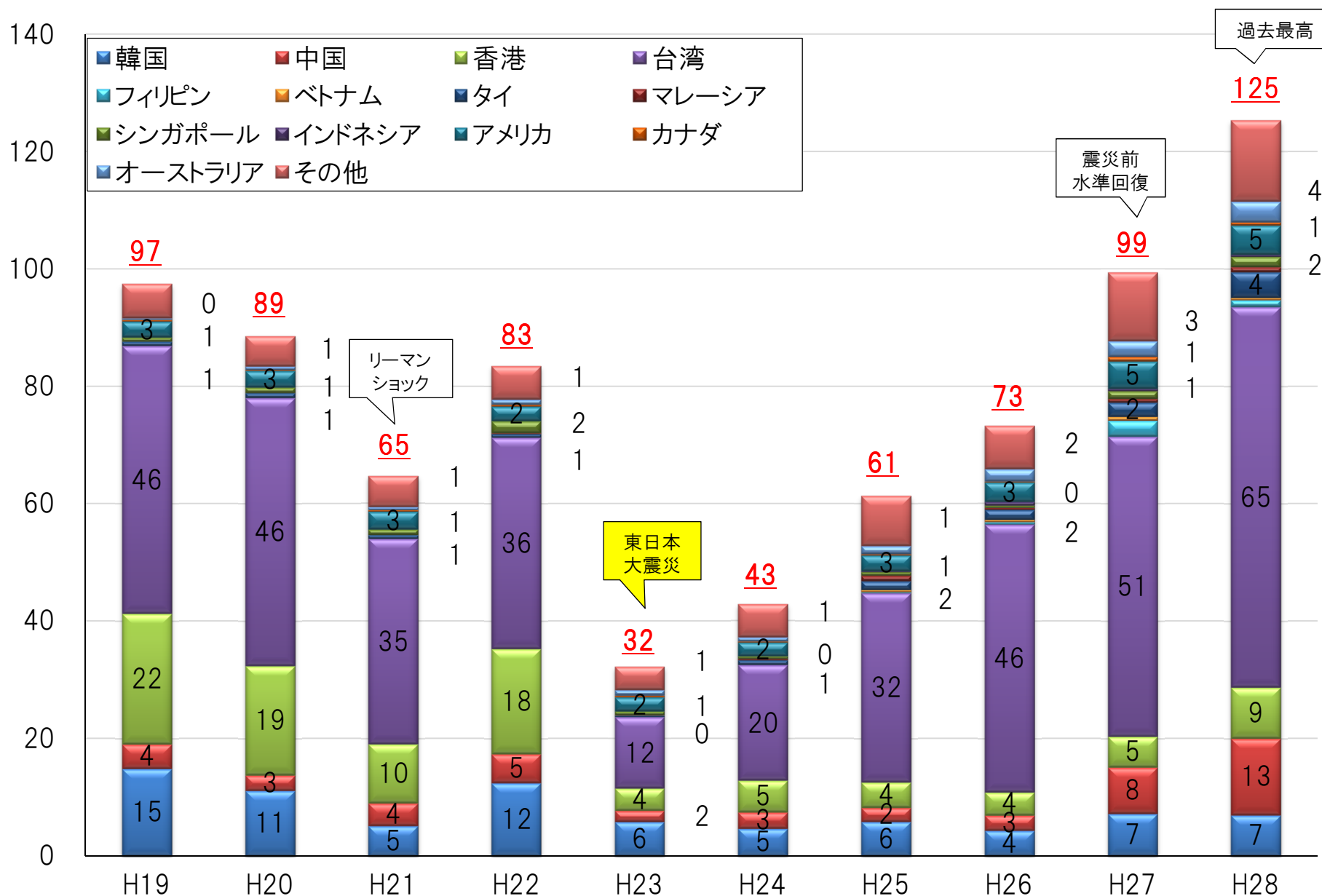
※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。斜線の箇所は統計なし(その他に計上)。

※岩手県の「いわて国際戦略ビジョン」(平成29年3月策定)における重点市場は以下の通り

最重点市場:台湾 重点市場:中国、香港、韓国 開拓市場:東南アジア(タイ、ベトナムなど)、豪州

※平成28年12月9日に、盛岡市がカナダを相手国とする東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして決定。

岩手県における市場別外国人旅行者数の推移



※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。

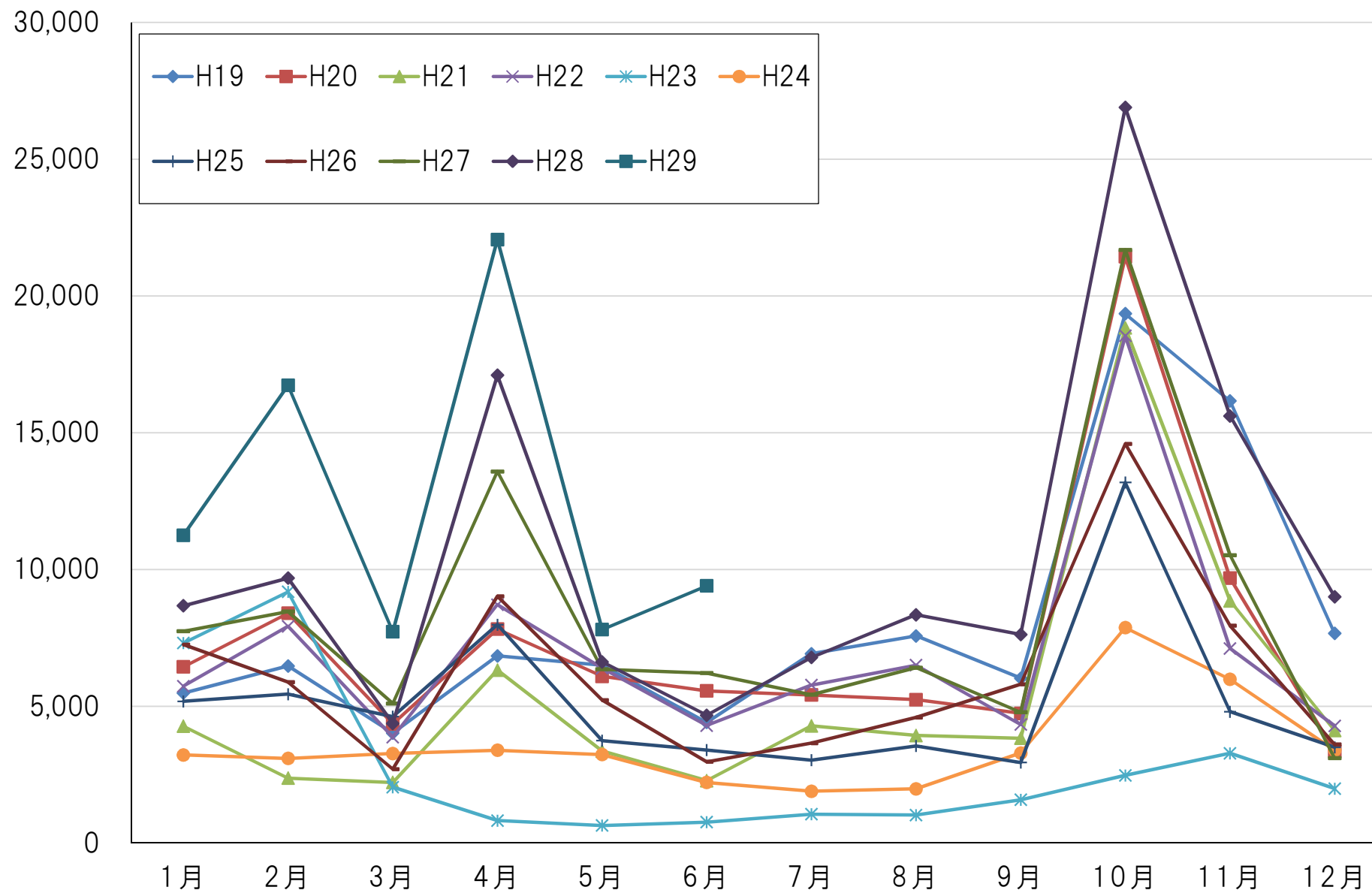
出典：宿泊旅行統計調査(観光庁) 8

岩手県における月別外国人旅行者数の推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
H19	5,480	6,470	4,020	6,840	6,500	4,410	6,920	7,570	6,020	19,350	16,160	7,660	97,400
H20	6,440	8,400	4,350	7,820	6,090	5,560	5,410	5,240	4,740	21,430	9,680	3,350	88,520
H21	4,270	2,370	2,210	6,320	3,360	2,280	4,280	3,930	3,830	18,830	8,850	4,110	64,640
H22	5,730	7,920	3,870	8,710	6,390	4,290	5,770	6,500	4,330	18,540	7,110	4,280	83,440
H23	7,310	9,180	2,040	820	640	760	1,050	1,020	1,580	2,470	3,280	1,990	32,140
H24	3,220	3,090	3,270	3,390	3,230	2,210	1,890	1,980	3,290	7,870	5,980	3,390	42,790
H25	5,180	5,440	4,620	7,980	3,740	3,400	3,030	3,550	2,940	13,180	4,800	3,500	61,330
H26	7,250	5,880	2,700	9,020	5,220	2,970	3,650	4,590	5,800	14,590	7,940	3,600	73,220
H27	7,740	8,460	5,100	13,580	6,350	6,210	5,420	6,410	4,780	21,680	10,520	3,100	99,360
H28	8,670	9,680	4,370	17,100	6,620	4,670	6,780	8,340	7,620	26,890	15,610	9,000	125,330
H29	11,250	16,730	7,720	22,060	7,800	9,400							74,960

※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。平成29年以降は速報値。 出典：宿泊旅行統計調査（観光庁）

岩手県における月別外国人旅行者数の推移



※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。平成29年以降は速報値。

出典：宿泊旅行統計調査(観光庁)

3. 岩手県の観光の機会

東北各県、北東北三県観光立県推進協議会、東北観光推進機構等との連携を強化し、広域観光周遊ルート「日本の奥の院・東北探訪ルート」等の広域的な周遊ルートによる誘客に取り組み東北全体・岩手県への誘客・認知度アップを図る。

広域観光周遊ルート形成計画

「日本の奥の院・東北探訪ルート」 “Exploration to the Deep North of Japan”



名称・コンセプト

【名称】

「日本の奥の院・東北探訪ルート」
"Exploration to the Deep North of Japan"

【副題】

『もう一つの日本・東北 山の彼方の美しい四季と歴史文化、食文化を探访するルート』

【コンセプト】

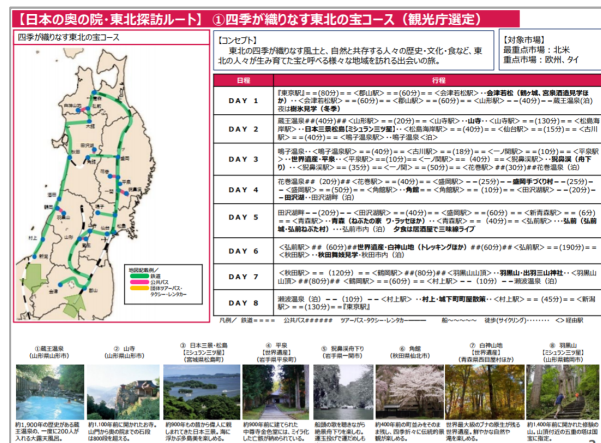
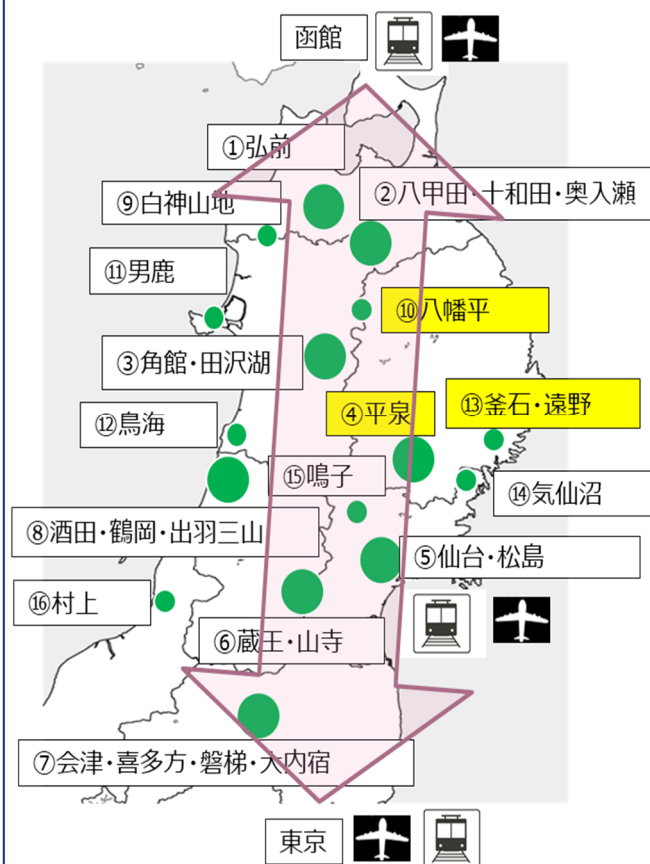
色彩あざやかな四季を奏で、多くの文人を魅了してきた美しい自然と風土が育んだ歴史文化と食を探访する旅

【主な対象市場・ターゲット】

台湾、香港、中国（上海・広州）、ASEAN、欧米、オーストラリア

岩手県は広域観光拠点地区に、平泉、八幡平、釜石・遠野が該当。岩手県を中心とした北東北エリアでは八甲田・十和田・奥入瀬、角館・田沢湖が該当する。

16の広域観光拠点地区を軸にルートを検討



岩手県の施策

岩手県では観光復興・海外市場での販路拡大・訪日外国人観光客拡大等を視野に、三陸防災復興博の開催、さらなる外国人観光客誘致のためのチャーター路線の強化、国際戦略ビジョン策定などの取組を実施している。

①三陸防災復興博

2017年(平成29年)6月30日(金曜日)

復興博 沿岸イベント

19年度上期・住田含む計13市町村

県、年度内に実行委

[illegible]

岩手日報
2017年6月30日(金)掲載

②チャーター便誘致

富牛車は花籃空港（香港、
梨花空港）に10月、香港か
らのチャーター便が就航す
ると発表した。香港人が紅
蓮などを観光するツアーに
よる利用で、東日本大震災
後の運輸、香港からの観光
客は震災後大幅に減って
おり、6月に遠征拓也知事
を団長とする訪問団がチャ
ーター便の就航を働き掛け
ていた。

1往復2便で、キャセイ

香港チャーター便
震災後初の就航

岩手・花巻空港、10月

ドラゴン航空が運航する。約3000人が利用する見込み。5泊6日、6泊7日などのツアーがあり、岩手のほか、秋田、青森、北海道を訪れるという。

2010年に岩手県内に墜落した香港人は1万7920人だったが、11年は3万700人に激減。徐々に戻ってきているものの、16年

は8690人と震災前の半分近くにとどまっている。県は6月、4年ぶりに香港でトクサセールスを実施、航空会社などを訪れていた。チャーター機運航は08年以來という。3月に予定していた

「いわて国際戦略ビジョン」では台湾を最重要市場、中国、韓国とともに重点市場と位置づけている。

日本経済新聞
2017年8月11日(金)掲載

③ いわて国際戦略ビジョン策定

県が「国際戦略ビジョン」策定

◆県が「いわて国際戦略ビジョン」で最重点市場に設定した海外市場

- 〔米〕 香港、シンガポール、米国
- 〔りんご〕 香港、タイ
- 〔牛肉〕 香港、シンガポール、米国
- 〔水産物・水産加工品〕 タイ、ベトナム
- 〔日本酒〕 台湾
- 〔南部鉄器〕 中国、香港
- 〔外国人観光客〕 台湾

一方、韓国による換骨脱胎の影響で、水産物が放任されていく。韓国が水産物を下回っているのは、魚のつぎがある。また、外国へ観光客の宿泊客数は、震災の影響で1年に前年から半減の約7万9000人、客室滞在数は約6万人に激減している。韓国は徐々に回復して15年は約8万9000人と震災前の水準を初めて上回った。ただ、国内への外国観光客が年々、大幅に増加し、過云高登を更新し続けているなか、限を設けた東北地方は本

訪日観光客拡大も

だ。このような経済交流の動向を踏まえ、国際戦略ジョンは、まず第一に「発展と豊かさ」を売り込む品目と需要など、タケ入れの明確化と専門人材の活用、ビジネスパートナーとの連携強化への模索を重視。販賣品の販路拡大や顧客拡大への経路模索や信用の確保、學術・文化は多面的な交流の促進などを目標と姿勢に据けた。

ビジョンではターゲットの明確化を図るため、品目別に市場開拓を規定したのが特徴的。例えば、米は日本食文化の普及が進む香港、シンガポール、米園を、水物・水産加工品はタイ、ベトナムを最優先市場とした。また、各

する、タイでは「高級レストラン」にとって最優先に人気があり、なかんずく中心に販路拡大を図る。などとした。

外資「観光客の誘致」といっては、限内での宿泊客数や移動客数を、中国を模範、韓国を最優先市場に設定。いわゆる花巻港への国際線「ターター」便の運航への要請や国際郵便物の誘致などに取り組む。また、ラックビ・W杯や東京五輪を契機し、外航クルーズ船の誘致や、東京五輪に連携した情報発信にも力を入れる。

国際空港の高機能化や国際線は「選手」ならぬ「ブランド」観光地、食品に磨きをかけて知名度を上げていきたい」と話している。

毎日新聞
2017年4月15日(土)掲載

販路開拓へ重点市場

限は、農林水産物の海外市場開拓や防日外関、観光客の拡大を、海外に展開する基本方針を定めていり、わけて國際戦略として、今年度から、國際関連施策の一環として、國際展を新設し、取り組みを強化、益石市が開催地の一つとなる2015年デビー・ワールドカップW杯の日本大会と20年東京五輪を海外展開の機軸とすると、多面的な交流・関係化や、外貨獲得にも資する展開につなげたい考えだ。

〔佐藤隆〕

市場

きく出遅れているのが現状だ。

国市場の特色を記した本邦の組み方針も明示。国営市場と位置づけられる中道は、官営市場や中間層以上の本物志向、品質重視の消費意欲ターゲットとしてマーケティングを展開する。タイでは、高級果菜類と、バナナ、マンゴ、パイナップル、

ラグビーワールドカップ®2019™釜石大会開催

ラグビーワールドカップ2019™釜石大会開催に伴い、釜石市内及び周辺市町村・岩手県全体での観光復興を目指す。本大会を契機に外国人対応を含め受入強化・滞在中の施策、地域のプロモーションを本格的に進める。

1 「ラグビーワールドカップ 2019 釜石開催実行委員会」設立

岩手県及び釜石市を含む 146 の関係者から構成される「ラグビーワールドカップ 2019 釜石開催実行委員会」の設立総会が、4 月 21 日に盛岡市のサンセール盛岡で開催されました。

今後は、釜石開催を国内外に強くアピールし、大会の成功に向けた機運をさらに高めていくとともに、「広報・イベント」、「交通輸送・宿泊」、「ボランティア・おもてなし」、「警備・消防・医療救護」の各専門部会を立ち上げ、開催準備を本格的に進めていきます。



設立総会：達増岩手県知事からの挨拶



懇親会：ラグビー日本代表ユニフォームで鏡開き

2 「釜石鵜住居復興スタジアム（仮称）」着工式

ラグビーワールドカップ 2019™の会場となる「釜石鶴住居復興スタジアム（仮称）」の着工式が、月 27 日に釜石市鶴住居町で行われました。式典には、約 100 人の関係者が参加し、地元幼稚園児に、る虎舞や、釜石シーウェイブスの選手による模擬プレーの披露もありました。スタジアムは来年夏頃に完成する予定です。



関係者による鉄入れ



スタジアム完成イメージ図



岩手日報
2017年7月5日(水)掲載

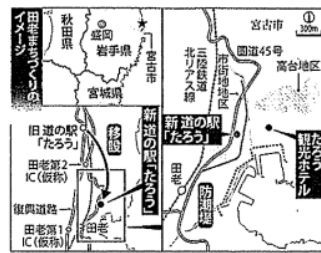
インフラの整備による産業・交流の促進

三陸復興道路の開通や宮古－室蘭間フェリー就航開始により新たな人・モノの流れが構築されようとしている。
国内外の産業・交流の促進により、三陸エリアの復興に期待できる。

①三陸復興道路開通による効果と期待

23 岩手 2017年(平成29年)4月5日(水)

毎日新聞



7年目の被災地 着々と延びる大動脈

「素通り」懸念 魅力ある町に

東北大震災の発生から7年。被災地は着々と復興の足音が聞かれる。三陸復興道路の開通が、被災地と外界をつなぐ大動脈となる。素通り懸念があるが、魅力ある町に期待が寄せられている。

三陸復興道路の開通が、被災地と外界をつなぐ大動脈となる。素通り懸念があるが、魅力ある町に期待が寄せられている。

三陸復興道路の開通が、被災地と外界をつなぐ大動脈となる。素通り懸念があるが、魅力ある町に期待が寄せられている。

毎日新聞
2017年4月5日(水)掲載

岩手日報

2016年(平成28年)11月30日(水曜日)

第XXXX号 (4)



復興道路効果 540億円

岩手経済研究所・年間試算

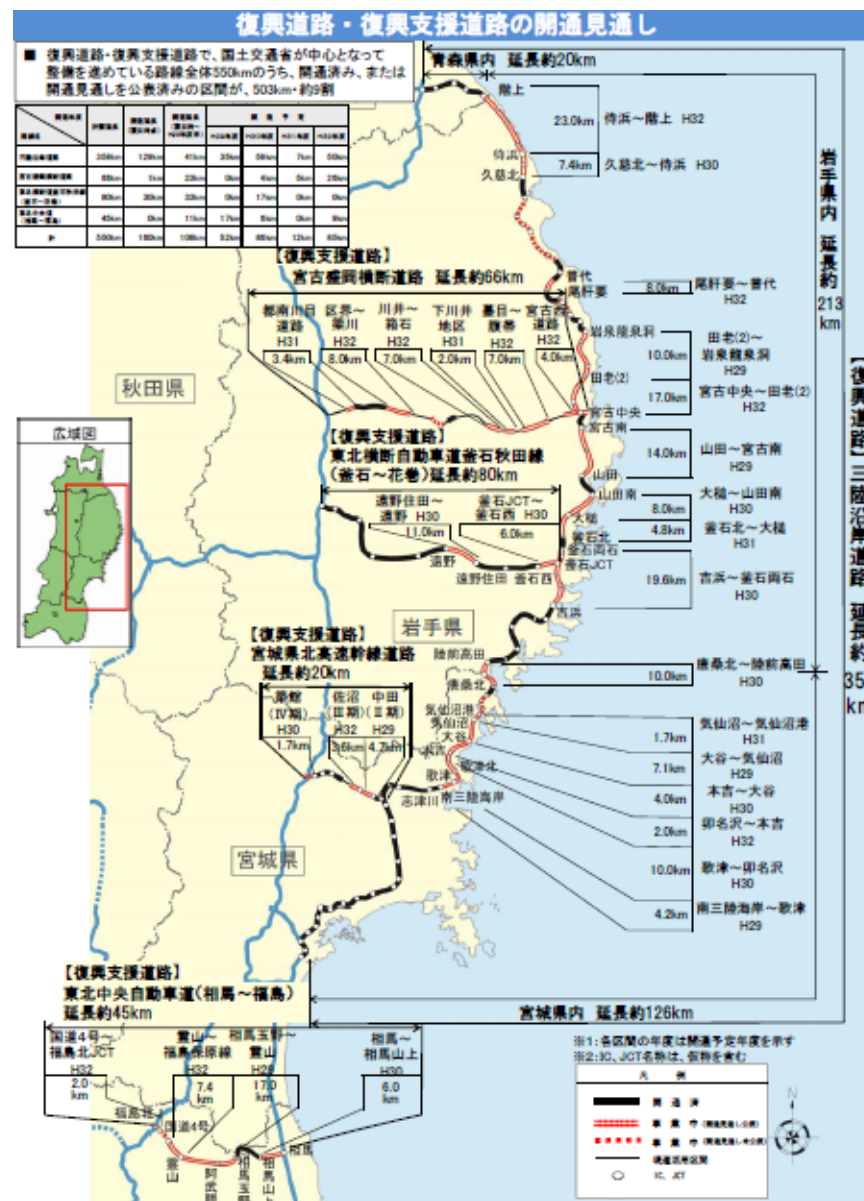
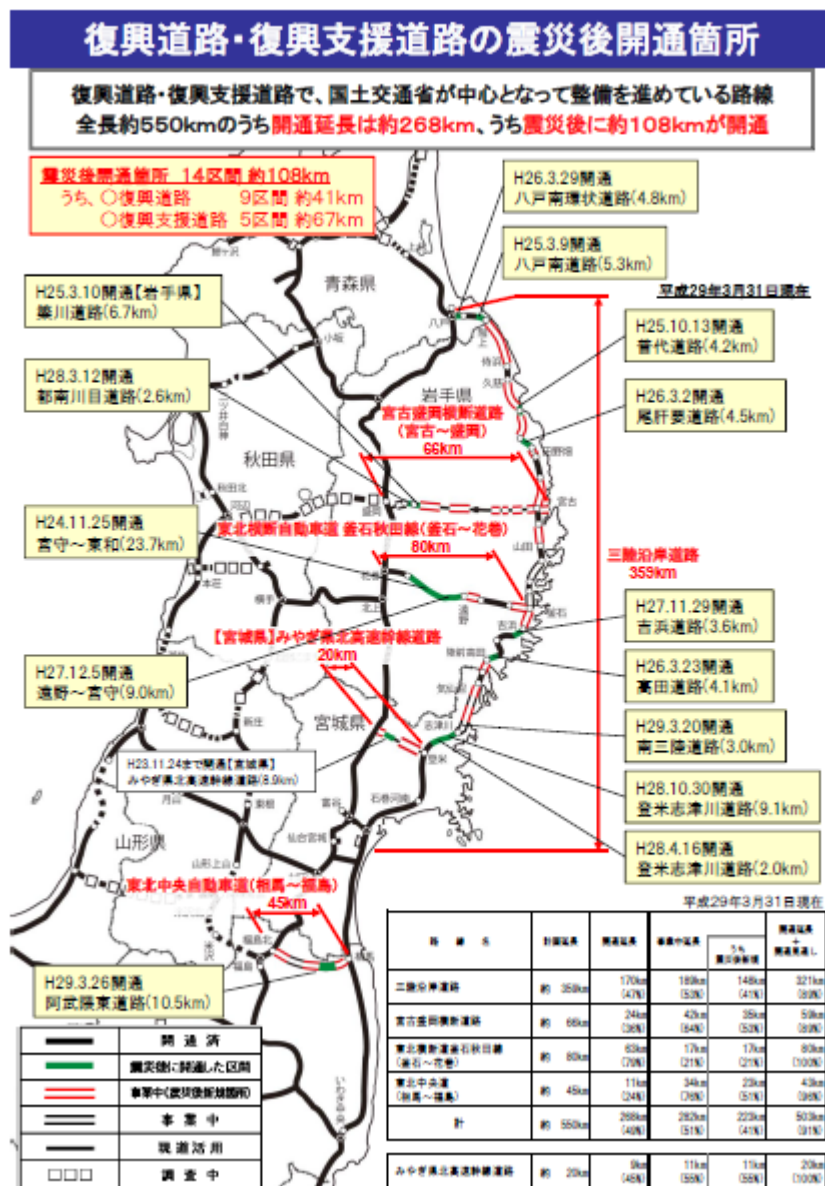
産業、交流促進に期待 内陸などへ消費流出も

復興道路の開通が、被災地と外界をつなぐ大動脈となる。素通り懸念があるが、魅力ある町に期待が寄せられている。

復興道路の開通が、被災地と外界をつなぐ大動脈となる。素通り懸念があるが、魅力ある町に期待が寄せられている。

岩手日報
2016年11月30日(水)掲載

インフラの整備による産業・交流の促進



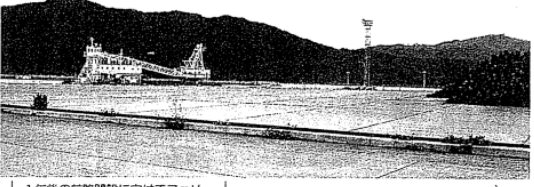
出典：東北地方整備局（平成29年6月14日記者発表記事）

インフラの整備による産業・交流の促進

三陸復興道路の開通や宮古－室蘭間フェリー就航開始により新たな人・モノの流れが構築されようとしている。
国内外の産業・交流の促進により、三陸エリアの復興に期待できる。

②宮古－室蘭間フェリー就航開始の契機と期待

川崎近海汽船 宮古－室蘭、来年開設



1年後の航路開設に向けてフェリーターミナルが建設される宮古港 8日

Economic Monday

6月号は「八吉」

相乗効果高まる期待

岩手初のフェリー航路

「八吉」が、北東北のフェリー航路を開通させる。宮古港と室蘭港を結ぶ。この航路の開通は、宮古港の観光地化に大きく貢献する。また、宮古港の観光地化は、宮古港の観光地化に大きく貢献する。また、宮古港の観光地化は、宮古港の観光地化に大きく貢献する。

宮古港と室蘭港を結ぶフェリー航路の開通は、宮古港の観光地化に大きく貢献する。また、宮古港の観光地化は、宮古港の観光地化に大きく貢献する。また、宮古港の観光地化は、宮古港の観光地化に大きく貢献する。

宮古港と室蘭港を結ぶフェリー航路の開通は、宮古港の観光地化に大きく貢献する。また、宮古港の観光地化は、宮古港の観光地化に大きく貢献する。また、宮古港の観光地化は、宮古港の観光地化に大きく貢献する。

デーリー東北 2017年6月15日(木)掲載

2017年(平成29年)6月13日(火曜日)

宮古－室蘭フェリーの藤原埠頭ターミナル 県、来年3月完成予定

津波避難機能備える

宮古市と北陸道室蘭市を結ぶフェリーターミナルの設計が完了。県は、来年3月に完成予定で、観光やビジネスなど、地域間交流の新たな拠点となる。

建設工事の積算費約1億5千万円。2階建てのターミナルは、フェリーの待合室や乗客の待合室、フェリーの乗降口を設け、1階は事務室を設ける。3階は会議室やホールの予定。

また、災害時の避難場所として活用できる。津波発生時の避難用に海面から約10メートルの高さに上がる外階段を整備。また、災害時の避難場所として活用できる。津波発生時の避難用に海面から約10メートルの高さに上がる外階段を整備。

また、災害時の避難場所として活用できる。津波発生時の避難用に海面から約10メートルの高さに上がる外階段を整備。また、災害時の避難場所として活用できる。津波発生時の避難用に海面から約10メートルの高さに上がる外階段を整備。

岩手日報 2017年6月13日(火)掲載

インフラの整備による産業・交流の促進

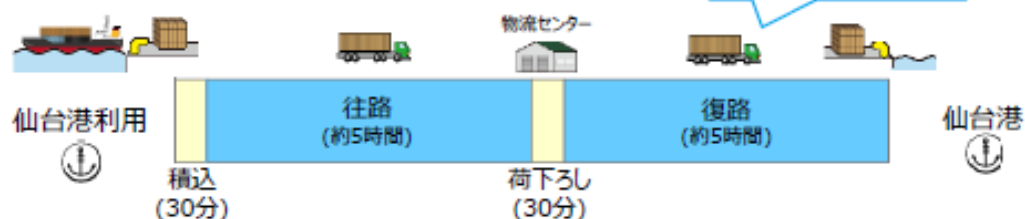
③自動車関連部品の輸送効率化を支援（更に1往復可能へ）

- ・自動車の電源供給等に用いられる部品を、製造拠点の1つである東南アジア（ベトナム、フィリピン等）から輸入。東北横断自動車道釜石秋田線（釜石～花巻）の順次開通により、仙台港から釜石港へ輸送ルートを変更。
- ・陸上輸送時間の短縮により更に1往復が可能となる等、輸送コストが削減し、輸送効率化を支援。

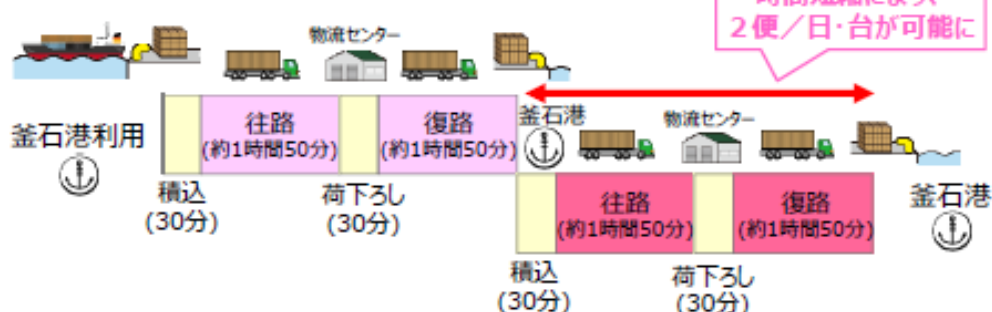


▼輸送時間の変化

開通前（仙台港利用）



開通後（釜石港利用）



所要時間

- ・開通前：仙台港～金ヶ崎町、H28.12企業ヒアリングより、開通後：釜石港～金ヶ崎町、H22センサス非混雑時旅行速度より算出
- ・積込み・荷下ろし時間を30分と仮定

《企業の声》

- ◆釜石市と海運会社による航路誘致の協力もあり、釜石港の利用へ変更しました。変更は**東北横断自動車道釜石秋田線（釜石～花巻）の開通が大きな理由**です。
- ◆横断道の全線整備によって、更なる輸送効率化に期待しています。
- ◆横断道の利用により、所要時間の短縮が図られコスト削減へ役立っています。

（H28.12 企業ヒアリング調査結果）

インフラの整備による産業・交流の促進

北海道新幹線の開通や道の駅の整備等により、北東北へのゲートウェイ・周遊の拠点が形成され始めている。そのため新たな来訪者も想定した上で、県内外の新しい連携先やルートの構築が必要になる。

③交通網や道の駅等の拠点を活用した周遊観光の促進

修学旅行 仙台VS.盛岡

北海道新幹線が開通して1年あまり。北海道からの修学旅行生の争奪戦が、繰り広げられている。仕掛けているのは「東北」の都市に2時間半で」とPRする仙台市。そこに、経由地である盛岡市が待ったをかける。さらには北関東の宇都宮市なども加わり、北に向けて秋波を送る。

道南の中学狙う

新幹線開通、北海道から来やすく



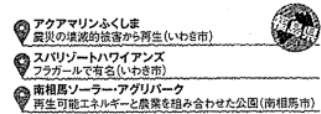
世界遺産平泉
国宝の中尊寺金色堂など(平泉町)

橋野鉄鉱山・高炉跡
世界遺産に登録された(釜石市)



● 国宝・瑞巖寺本堂
約400年前に伊達政宗が建立した(松島町)

● 栗駒山麓ジオパーク
日本ジオパークに認定された(栗原市)



く講習会
東北全
も進んで
た計7県
行各社に
光推進機
札幌市
「をマ
「修学を
年前に
や、機機
くるもの
しょう」

「体験」と「防災」テーマに

「新幹線を待つてゆめいり
聞て、お寺を待たせりし時
は、仙倉で自新修した、今は
年毎は盛岡の自新修をなさ
して、春で一年の時間を消
して、釜で、安房原のコン
ションにルルに分かれて
宿泊し」
また、北海道で新幹線で
東北地方に乗り入れることが
増えたと、
「仙倉の自新修は、主
に行政事務（「静組」は市
行や支庁の事務）を主
にやわする。仙倉は「静
感」の横顔が生まれてい
る。このため、「仙倉」
は、その土地に於て身体感
をなくして、主として、心
向が進行か、仙倉が力大
なれば、高森や吾妻の山
遊歩体は、松島や宮城の
山遊歩体と異なる。リッ
ンギンと仙倉駅前で、その門
を歩くと、仙倉寺の山遊歩

仙台VS.盛岡

[illegible]

他県含めてPR

館——などだ。修学旅行の「メインイベント」となる自主研修についても、仙台側は「地校」だった。

観光周遊の拠点に

道の駅平泉の完成祝う



完成した道の駅「平泉」の外観



手田社長（左）から清水所長に旗を引き渡し

東北地方整備局管掌る施工で、各社が調整し合い事故なく終了した。毎日いきわいを「は」と、感謝と今後

のにきわいを祈念した。

清水港手河川開通事務所長は、道の駅を情報伝達の拠点として取り組むべく、交通網と節電にも配慮し整備しており、観光団遊の一助には、古木幸保平家町長は、地域の産業、商工農の連帯を商業施設等としての期待され、沿路部の環境復興の大企業となる場にもしたい」と、それぞれが鋭意努力中だ。

道の駅平泉は、平泉町平泉駅の隣接地、国道7号平泉バイパスと県道相州平泉線が開通した箇所に整備された。柳井御新資料館に関わる部分をめた道の駅で、敷地に1万6千7平方メートル確保。建物は本漆平屋の約156坪9分の床面積であり、直向瓦形葺きの建物となり、入母造りの屋根を採りするなどの特徴を有する。

駐車場数は、小車庫108台、大型車22台、身障用車2台の計126台とし、「加え」てEV急速充電器1台も備える。建物や駐山地区分を含めた総工費は約億3300万円と推定されている。

建物について詳しく見ると、休養所や道路情報提供施設などの役割を担う外、地域農産物を活用し加工して土産物とするほか、地元産品を6次産業化を促進し、特産品の開発など新たな魅力を出す。世界遺産への追加登録を目指す柳井御新遺跡・体的な格納車を非常用発電機や断熱倉庫、災害用トイレなどはを整備し、災害時に防災拠点としての機能を果たす。

関連設備として、技術コンサルタント設計業務Vが設計、監理、施工を担当する野建築設計事務所が監理、建設の進められ、築業、田工業、機械設置業者大南商事、電気設備

千田社長(左)から清水所長に鍵を引き渡し
トランを地域振興施設として平泉町内の観光情報館、三陸シオパーク、北東の観光開発施設等として活用される。トイ

駐馬館製菓を佐々木組、案内設備提供を岩手県、情報提供設備を手賀沼、情報提供設備を愛媛国アランドエニンジリング、レス

た。

本調理機、防犯設備を白土町の、閉鎖設備を七ツコ、E.V.設備を並泉地方工業所が担当し、(日刊)建設工

武典では、施工業者を代表して千田工業の千田和秋代表取締役社長があいさつ。『各社とも工期や工程の気にな

インフラの整備による産業・交流の促進

④内陸と沿岸を結ぶ周遊観光が促進し、インバウンド観光も増加

- ・世界遺産「平泉」の立寄り客が、「遠野ふるさと村」や「釜石市」に立寄る割合が増加し、周遊観光を促進。
- ・「遠野ふるさと村」では花巻空港からの外国人観光ツアーでインバウンド観光が増加。前年度に比べて外国人入込客数が約2倍増加。

▼滞在者数の増加と沿岸部への観光ルート



▼平泉 中尊寺金色堂新覆堂 (世界遺産)



▼釜石 橋野鉄鉱山 (世界遺産)



▼平泉から「遠野ふるさと村」への立寄り者数の変化



▼平泉から釜石市への立寄り者数の変化



資料：混雑統計(ゼンリンデータ) (平泉町滞在者を対象)
・値は「混雑統計」のデータによる推計値であり、他の公表値とは一致しない
・H27:1月～10月、H28:1月～10月
※滞在時間15分以上でカウント
※混雑統計データは、NTTドコモが提供する「ドコモ地図ナビ」サービスのオートGIS機能利用データより、距離を基に上乗せされる混雑電位の数値情報、NTTドコモが独自の加工を行ったデータ。

▼「遠野ふるさと村」の外国人入館者数の変化



《宿泊事業者の声》

- ◆遠野IC～宮守ICの開通によって、旅行会社やバス会社よりアクセス性が良くなったとの評判がありました。(H28.11 ヒアリング結果)
- ◆外国人観光ツアーの増加は、少なくとも道路整備が数ある要因の一つになっていると思います。(H29.1 ヒアリング結果)

《釜石観光協会の声》

- ◆道路の開通も要因となり、平泉から釜石へ、橋野鉄鉱山や三陸沿岸の観光地を巡る観光客が増えています。(H29.2 ヒアリング結果)